



青少年奉仕委員会だより

2018年12月1日号

編集者 稲本修一

「ダンケツ」がRA地区大会テーマ

ローターアクト地区大会実行委員会は、来年5月5日、日立のホテルテラスザスクエア日立で開催されるローターアクト年次大会の大会テーマは「ダンケツ」と発表しました。



このテーマの由来について、池田遼太・地区代表は「茨城県が魅力度最下位のビリッケツから断（ダン）絶するという意味をかけたもの」と説明しました。

RYLA（ライラ）に参加して

当地区のRYLA「ロータリー青少年指導者養成プログラム」（Rotary Youth Leadership Awards、通称「ライラ」）が10月7日・8日の両日、大洗で開催されました。

その時の感想文の一部を掲載いたします。

今回、初めてライラセミナーに参加して、一番自分が変わった！と思う



ことは、「積極的に答える」ということでした。

（小辻健士郎）

濃い内容のスケジュール、ワークショップ、プレゼン、様々な出来事の中で私は「どう生きるか」というテーマの中で「私は幸せの条件について知った」。

（菊地有沙）

今回、このセミナーに参加し、高校生の意識の高さに驚かされ感心させられました。

（齋田貴之）

この2日間を通して、あらためて自分を見つめ直すことで「君たちはどう生きるか」の問いた答え見つけるとともに進学へ向けての志望理由を明確にし、将来の目標に一步近づけたと思います。

（野村陽向）

ローターアクト地区代表 公式訪問始まる



池田遼太・地区代表の第一グループ（水戸・古河地区・真壁 RAC）公式訪問は、ソフトボール大会会場で行われました。

大会開催にメンバーの招集が苦勞し、他クラブのメンバーや転勤等で現地を去った仲間も応援に駆け付け、無事試合が成立しました。

親善と親睦に大きな成果があった1日でした。

第2回北関東3地区交流会開催さる



2820 地区（茨城）、2550 地区（栃木）、2840 地区（群馬）の北関東の3地区でローターアクトの魅力を発信し、会員増強にも繋げようと3地区合同交流会が古河市で開催されました。

今回は参加者をシャッフルした3チームを作り、綱引き、競歩リレー、ピンポン玉運び、障害物競争等のスポーツ交流で親睦を深め、ロータリーファミリーとしての絆を再構築しました。